

ダイバーシティを推進

ミニストップは、働き方や雇用形態の多様化を通じて人材を確保し、多様な価値観の共有により、従業員一人ひとりの能力を生かし組織の力の最大化を図っています。

ミニストップは働きやすい職場環境の構築に向け、2016年より、トップダウンによる意識改革を推進する、管理職を対象としたイクボス*の養成を開始しています。これにより営業現場や本部従業員に対しても「労働時間の長さより、生産性の高い仕事が重要」という意識改革を図っています。今後も、多様な人材が多様な働き方を選択できる制度の整備や取り組み、人材育成など総合的かつ継続的なアプローチにより、ダイバーシティを推進していきます。

※ 職場の部下・スタッフのキャリアと人生を応援し成果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）



人事部
人材育成・ダイバーシティ推進チーム
マネージャー 木村 直子

ミニストップの社会・環境活動

私たちは、小売業が担うべき地球環境保全の責務を理解し、環境負荷低減のためのさまざまな取り組みを行っています。また、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを通じて、地域にとってなくてはならない存在を目指しています。

着実に進むFSC® 認証木材活用店舗出店

ミニストップは、国産FSC® 認証木材を活用した店舗の出店を進めてきました。2009年に1号店が完成、2014年度に100店舗の目標を達成しました（2017年2月末現在延べ206店舗）。FSC® 認証木材による店舗建設は、従来の鉄骨工法に比べ、CO₂を約33%削減、工期を約10日削減できます。私たちは環境保全活動の一環として、今後もFSC® 認証木材を活用した店舗開発を進めていきます。

http://www.ministop.co.jp/corporate/eco_social/environment/next/sustainable.html

※ FSC® (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会) は、森林環境保全に配慮し、地域社会の利益にもかからない、経済的にも継続可能な形で生産された木材を認証する国際的な会員制の非営利組織です。この世界的に認証されたFSC® マークが入った製品を使用することにより、世界の森が健全に保たれ、地球環境を守ることに繋がります。



花の輪運動

ミニストップは1991年から、小学校に花の苗を贈る「花の輪運動」に協賛しており、店頭募金と土曜日のソフトクリームの売り上げの1%を合わせて、ミニストップの出店エリアの小学校に毎年抽選で花の苗を贈っています。協賛開始からこれまでの贈呈小学校数は延べ1万4,129校、花の苗の贈呈数は364万株を突破いたしました。ミニストップは、次世代を担う子どもたちの教育支援の一環として、今後もこの活動を続けていきます。

http://www.ministop.co.jp/corporate/eco_social/social/community/hananowa/

